

全国学力・学習状況調査問題における短答式・記述式問題の現状

令和3年1月26日
国立教育政策研究所教育課程研究センター学力調査課

1. 形式別問題数（令和2年度）

■小学校

教科	選択式	短答式（※1）	記述式（※2）	合計
国語	11	2	2	15
算数	4	8	4	16

■中学校

教科	選択式	短答式（※1）	記述式（※2）	合計
国語	7	5	2	14
数学	5	6	4	15

（※1）短答式：本文中からの抜き出しや書き換え、数値、数式などを単語や比較的短い文章によって解答するもの

（※2）記述式：答えの求め方や考え方、解釈や評価などを文章で解答するもの

2. 短答式問題の例（令和2年度）

【国語】

- ・漢字の書き取り（小学校）、漢字の読み（中学校）
- ・文の書き換え（小学校）
- ・歴史的仮名遣いから現代仮名遣いへの書き直し（中学校） 等

（例：小学校国語調査問題（R2年度））

（例：中学校国語調査問題（R2年度））

五 岩田さんは、「下書き①」で、**A**の文の……部と……部とがうまくつながっていないことに気がつき、この文を書き直すことにしました。文の意味が変わらないように、の中に続きを書きましょう。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

大切なことは、。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

<解答例>

五 大切なことは、。

※本解答例では12文字

二 次の「線部①」と「線部②」をそれぞれ現代仮名遣いに直し、全てひらがなでいねいに書きなさい。

宗助は先刻から縁側へ坐蒲団を持ち出して日当りのよささうな所へ気楽に湖坐を^①かいて見たが、やがて手に持つて^②ある雑誌を放り出すと共に、ごろりと横になった。

（『浮城物語』一〇二による）

<解答例>

二

② ある	① よささうな
例 いる	例 よさそうな

【算数・数学】

- ・数値を書く（小学校、中学校）
- ・数式を書く（小学校、中学校）
- ・問題文の空欄に入る言葉を書く（中学校） 等

（例：中学校数学調査問題（R2年度））

（例：小学校算数調査問題（R2年度））

⑥ 第一中学校では、リサイクルの取り組みとして容量が1000 mLの紙パックを集めています。生徒会役員の大輝さんと葉月さんは、紙パックを集める期間を1か月間とし、集まった紙パックの枚数を、全校生徒に報告しようと考えています。

最初の4日間で集まった紙パックの枚数が思ったよりも多かったため、二人は、1か月間で集まった紙パックの枚数を全部数えるのは大変だと思いました。そこで、二人は、4日間で集まった紙パックの枚数を、次のようにして求めました。

大輝さんの求め方

4日間で集まった紙パックの合計の厚さは16.2 cmでした。



その中から取り出した、紙パック10枚の厚さは0.8 cmだったので、紙パック1枚の厚さをすべて0.08 cmと考え、 $16.2 \div 0.08 = 202.5$ したがって、4日間で集まった紙パックの枚数は約203枚です。

葉月さんの求め方

4日間で集まった紙パックの合計の重さは5742 gでした。その中から取り出した、紙パック1枚の重さは30.0 gだったので、紙パック1枚の重さをすべて30.0 gと考え、 $5742 \div 30 = 191.4$ したがって、4日間で集まった紙パックの枚数は約191枚です。

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) 前ページの**大輝さん**の求め方のように、紙パック10枚の厚さがわかっているとき、紙パックの枚数を求めるために、次のような考えが使われています。

紙パックの枚数を全部数えなくても、紙パックの合計のを調べれば、紙パックの枚数が求められるので、枚数をに置きかえて考える。

上のには、同じ言葉が当てはまります。その言葉を書きなさい。

<解答例>

⑥ (1)

3

ようたさんたちは、分数のたし算について考えています。

(1) $\frac{1}{3} + \frac{2}{5}$ の計算をしましょう。

<解答>

3	(1)	$\frac{11}{15}$
---	-----	-----------------

3. 記述式問題の例（令和2年度）

【国語】

- ・取材内容を基に自分の考えをまとめる（40字以上60字以内）（小学校）
- ・条件に合わせ、資料から言葉や文を取り上げて書く（30字以上80字以内）（小学校）
- ・相手の話に対するお礼の言葉を書く（中学校）
- ・創作している俳句に入れる言葉を選んだ理由について書く（中学校） 等

（例：小学校国語調査問題（R2年度））

【本の一部】「プラスチックのひみつ」という題名の本

◇ プラスチックを賢く使おう

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすいうえ、さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になくてはならないものとなっています。

こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物によって分解され、なくなってしまいます。しかし、わたしたちの身の回りで使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

◇ 解答例 ◇ ※本解答例では78字

例	※◆の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。
二	けれども、「プラスチック のひみつ」という本によ り、プラスチックはほとん どが石油から作られてい るので、自然の中では分解 されずに、ずっと残ってし まうそうです。

○「本の一部」から言葉や文を取り上げて書くこと。

○岩田さんが、何という本から言葉や文を取り上げて書いたのかが分かるように書くこと。

○書き出しの言葉に続けて、三十文字以上、八十文字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

二 岩田さんは、「下書き①」の [] に、プラスチックがずっと残ってしまう理由を書くことに入りました。そのために資料を探し、本を見つけました。次は、その「本の一部」です。 [] に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)



岩田さん

（例：中学校国語調査問題（R2年度））

3 川口さんは、「卒業」をテーマに俳句を創作しています。次は、川口さんが「創作している俳句」とその俳句の [] に入る「言葉の候補」川口さんが見ている【辞典の記述】です。あなたなら、【言葉の候補】の中のどの言葉を選びますか。AからCまでの中から一つ選び（「言葉の候補」の中のどの言葉を選んでもかまいません）、それを選んだ理由を、あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線の下に書き加えたりしてもかまいません。

【言葉の候補】

A ほろほろ
B ぼろぼろ
C ぼろぼろ

【創作している俳句】

卒業に こぼれる涙 [] と

【辞典の記述】

ほろほろ ① 涙や葉・花びらといった小さく軽いものが、音もなく落ちてこぼれ落ちる様子。② 山鳥・雉・鳩といった鳥の鳴く声。

ぼろぼろ ① 大粒の涙をこぼす様子。かたまりや粒などが、続けてこぼれ落ちたり崩れたりする様子。② 物がひどく破れたり崩れたりしている様子。

ぼろぼろ ① 涙や小さい粒状のものなどが、一粒ずつ続けてこぼれ落ちる様子。② ひとかたまりになっていたものが水分を失って、ばらばらになる様子。

◇ 解答例 ◇

例 私は「ほろほろ」の「小さく軽いものが、音もなく落ちてこぼれ落ちる」という意味に着目しました。「ぼろぼろ」には「大粒の涙をこぼす」、「ぼろぼろ」には「一粒ずつ続けてこぼれ落ちる」などの意味がありますが、私は、卒業式の厳かな雰囲気の中で静かに涙を流す様子を表現したいので、「音もなく」という意味がある「ほろほろ」を選びました。

※本解答例では161字

【算数・数学】

- ・図形の構成要素や性質を基に、示された式の意味を言葉や数を用いて書く（小学校）
- ・示された考えを基に、数の相対的な大きさを基に、小数の加法を整数の加法に直して処理する方法を言葉と式を用いて書く（小学校）
- ・ヒストグラムのデータの特徴を捉え、そこから主張できる内容の理由について書く（中学校）
- ・連立方程式を解く過程を振り返り、求め方の手順に表されている数の意味を説明する（中学校） 等

(例：小学校算数調査問題（R2年度）)

図2の四角柱は底面が正方形で、図2の四角柱のすべての側面に紙をはるためには、図3のような1枚の大きな長方形の紙の横の長さを、どのくらいの長さにすればよいのかを考えます。

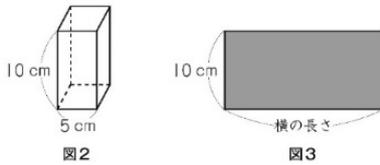


図3の横の長さは、次のように求めることができます。

求め方

$$5 \times 4 = 20 \text{ だから、答えは } 20 \text{ cm です。}$$

図2の四角柱について、求め方の中の「 5×4 」は、どのようなことを表していますか。「5」と「4」が何を表しているのかわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

<解答例>

(例)

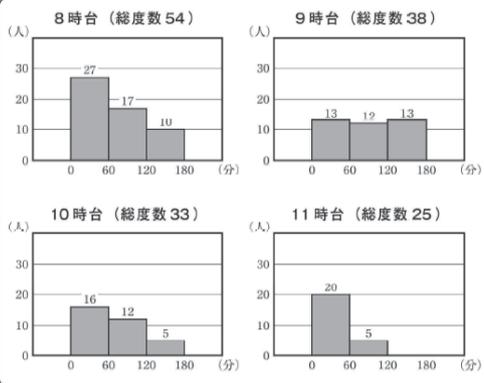
5は、底面の1辺の長さが5 cmであることを表しています。
4は、底面の1辺の長さが4つであることを表しています。
だから、 5×4 は、底面の1辺の長さ5 cmが4つあることを表しています。

(例：中学校数学調査問題（R2年度）)

(3) 二人は、待ち時間が短かった来院者は、どの時間帯に受付をしたのかが気になりました。そこで、受付をした時間帯ごとの待ち時間を「60分未満」、「60分以上120分未満」、「120分以上180分未満」に分け、来院者数を次のようにまとめました。

二人は、前ページの調べたことをもとに、待ち時間について話し合っています。

調べたこと



啓太さん「ヒストグラムの60分未満の階級の度数を見ると、8時台が27人で11時台が20人だね。だから、60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いといえるね。」

春花さん「でも、階級の度数で判断していいのかな。8時台と11時台の総度数を見ると、60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いとは言い切れないよ。」

調べたことの、8時台と11時台のヒストグラムを見ると、春花さんのように「60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いとは言い切れない」と主張することもできます。その理由を、相対度数を使って説明しなさい。

<解答例>

説明

(例) 8時台は総度数が54で、待ち時間が60分未満の度数が27なので相対度数は0.50である。また、11時台は総度数が25で待ち時間が60分未満の度数が20なので相対度数は0.80である。8時台と11時台の相対度数を比べると、0.50より0.80の方が大きい。よって、60分未満の来院者数は、8時台の方が11時台より多いとは言い切れない。

上の調べたことから、例えば、9時台のヒストグラムでは、待ち時間が60分以上120分未満の来院者が12人いたことがわかります。

(3)